

2015年度 特別講演会の報告

日時 2016年3月28日(月) 14:00~15:00

会場 北海道科学大学 G101 教室 (北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1)

幾度となく暴風雪に見舞われた、厳しい冬も峠を越え、将に三寒四温の中、北海道科学大学のキャンパスにおいて、2015年度の北海道支部総会ならびに特別講演会が開催されました。北海道支部長を長年に亘り勤められ、2015年に本学会の名誉会員を授与された、北海道科学大学名誉教授 竹内 茂 先生を講師にお招きして、「設計・製造技術支援システム」と題して約1時間の講演を頂きました。計算尺や烏口による製図の時代から、PCによる3次元CADの今日に至るまでの設計製図の歴史を、秘蔵の写真や貴重なデータを交えてお話下さいました。わが国で導入初期の電子計算機を操られながら、熱処理や加工プロセスの解析、製造支援や自動分析システムの構築、複雑な物理モデリングや大規模な数値計算、ならびにそれらの設計から製造までの適用などについて、現場への導入に当たっての苦労話も含めて丁寧に解説頂きました。現在、3Dプリンタと称される、RP&M (Rapid Prototyping and Manufacturing) の黎明期において、立体成型技術の先駆者でおられた立場からの所見も頂くことができました。

講演の終わりには、熱応力解析の技術的な課題や3Dプリンタの将来展望などの質問に対して懇切にお応え頂き、一同、珠玉の時間を過ごしました。



竹内名誉会員の特別講演



特別講演会の資料

風間俊治 (支部長), 平元理峰 (支部幹事)